

大空に映える

まなびの大地

大森小

April 2026

学校だより

卯月の章

大地に根付き大空に向かって伸びる大森っ子

さくら満開 えがお満開

4月9日、令和がスタートした年度に生まれた子供たちが本校に入学しました。例年より早く満開となった桜の木々が、99名の晴れの舞台に彩りを添えました。新入生の立派な態度とご家族の満面の笑顔が印象的でした。

申し遅れましたが、今年度より本校校長を拝命した今 将史(コナマシ)と申します。この学校だよりを通じて、学校経営方針に基づいた試みやトピックスなどをお伝えさせていただきますので、どうぞよろしく願います。

嬉しい驚き 嬉しい想定外

さて、新年度が始まり早1ヶ月が経とうとしていますが、驚いたことが三つあります。

一つ目は、登校時に挨拶をする子が予想より多いことです。「大きな声で」が理想ですが、小さな声でも心がこもっていれば良いと考えます。様々な事情を抱え、登校するだけでも精一杯の子もいます。低学年の子たちを安全に連れてこようと一生懸命な高学年の子たちは、疲れて声が小さくなるのは当然です。私は視線が合うか、口元が動いているか、顔色はどうかに注目しながら声をかけています。



二つ目は、保護者の方が集う場での参加率が高いことです。PTA学校委員会は95%、PTA総会も約80%の参加率でした。保護者の方の熱意と、それに伴う取組は、お子さんたちにきっと還元されていくことでしょう。

三つ目は、本校教職員の勤務意識の高さです。夜遅くまで手間ひまを惜しまず働く姿に頼もしさを感じる一方、健康な心身で子供たちに向き合ってもらうために、働き方改革を着実に進める必要性を感じています。

さらなる高みへ 新たな試み

PTA総会時もお話しましたが、学校目標やスローガンに掲げる「たくましさ」や「挑戦意欲」「主体性」といった、これから生きていくうえで大切ですが育むのが難しい資質・能力を、**教科担任制**(今後の進捗によっては**チーム担任制**)を全学年で採り入れることで高めていきたいと考えています。その成果と課題を明確にし、次の一手を考えていくために、定期的なアンケートを実施することもあるかと思います。その際はご協力をお願いします。